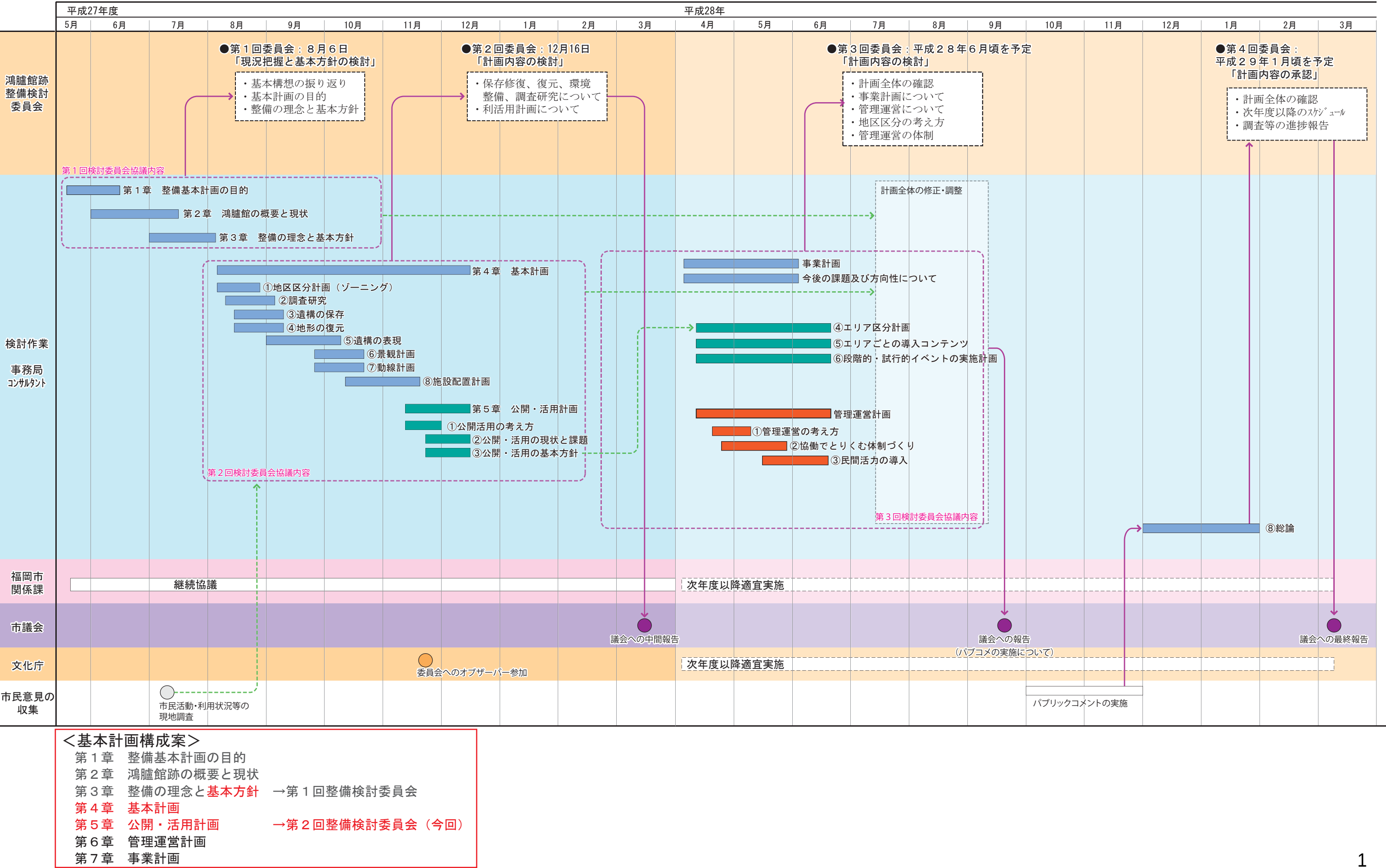


1. 国史跡鴻臚館跡整備基本計画 策定スケジュール



2. 平成 27 年度国史跡鴻臚館跡整備基本計画検討内容（概要版）

I. 目的・対象範囲と策定の進め方

1 目的

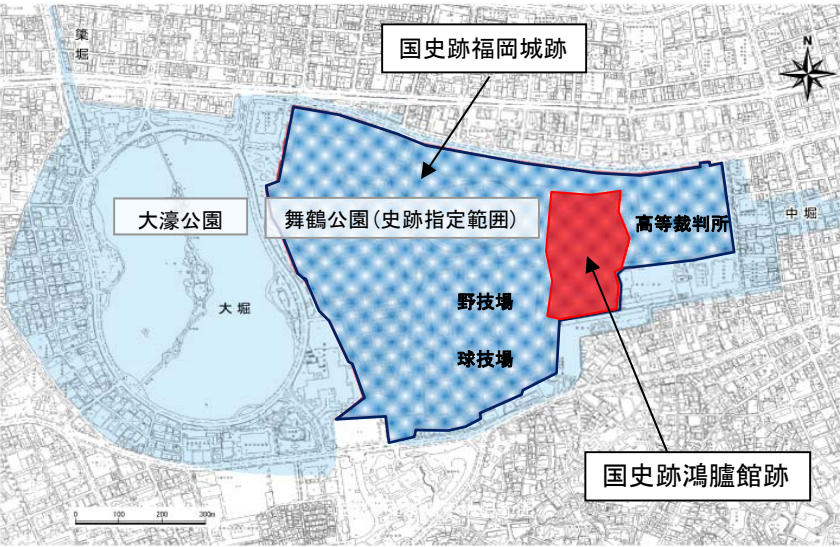
平成 27 年 3 月策定の「国史跡鴻臚館跡整備基本構想」を踏まえ、福岡城跡整備基本計画、セントラルパーク構想との連携を取りながら、歴史・文化のまちづくり、観光促進及び地域に根ざした鴻臚館跡の整備・活用の具体的な内容やスケジュール等を示す『国史跡鴻臚館跡整備基本計画』を策定するものである。

2 対象範囲

対象範囲は、「国史跡鴻臚館跡」の範囲（福岡城跡整備基本計画の「鴻臚館ゾーン」）を原則とする。
加えて、史跡指定範囲外で鴻臚館の関連施設が予想される範囲（舞鶴球技場、野球場、福岡高等裁判所等）も含めて取り扱う。

3 策定の進め方

策定は、基本構想段階から継続する、考古学、国史学、建築史学、造園学、環境設計学の分野の学識経験者からなる「鴻臚館跡整備検討委員会」に意見を求めながら進める。



国史跡鴻臚館跡、福岡城跡位置図

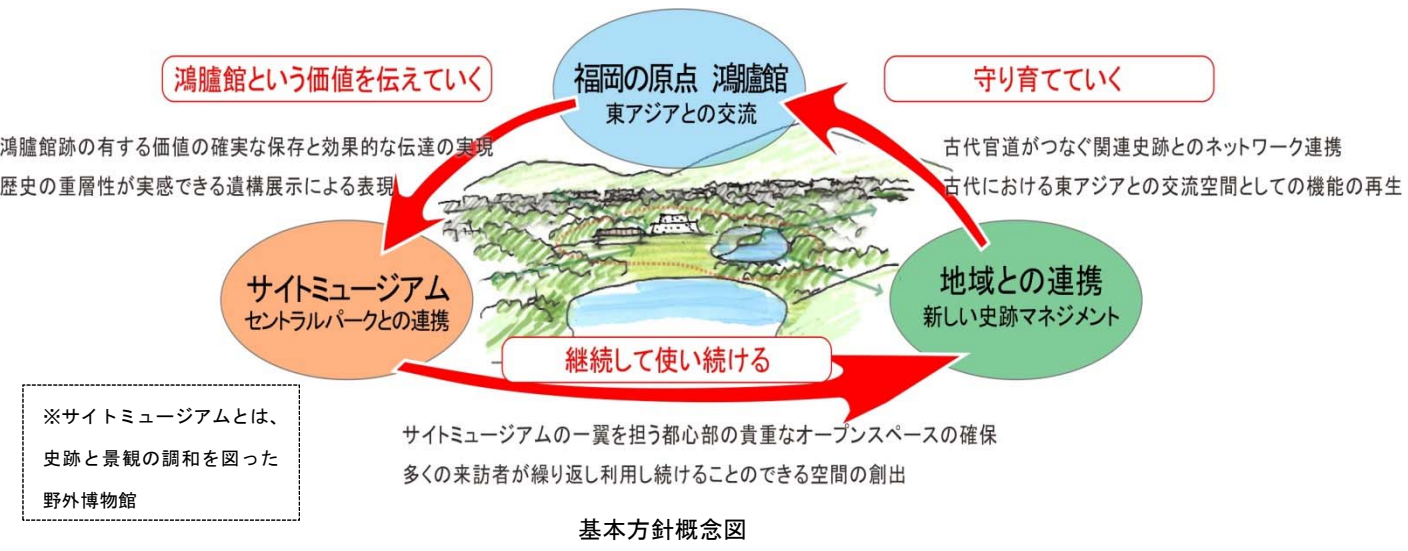
II. 基本理念と基本方針

1 基本理念

「アジアの交流拠点都市福岡の原点 鴻臚館一時をたどり、人々が行き交う場にー」

2 基本方針

- ① 鴻臚館跡の有する価値の確実な保存と効果的な伝達の実現
- ② 歴史の重層性の実感できる遺構展示による表現
- ③ 古代官道がつながる関連史跡等とのネットワーク連携
- ④ サイトミュージアムの一翼を担う都心部の貴重なオープンスペースの確保
- ⑤ 古代における東アジアとの交流空間としての機能の再生
- ⑥ 多くの来訪者が繰り返し利用し続けることのできる空間の創出

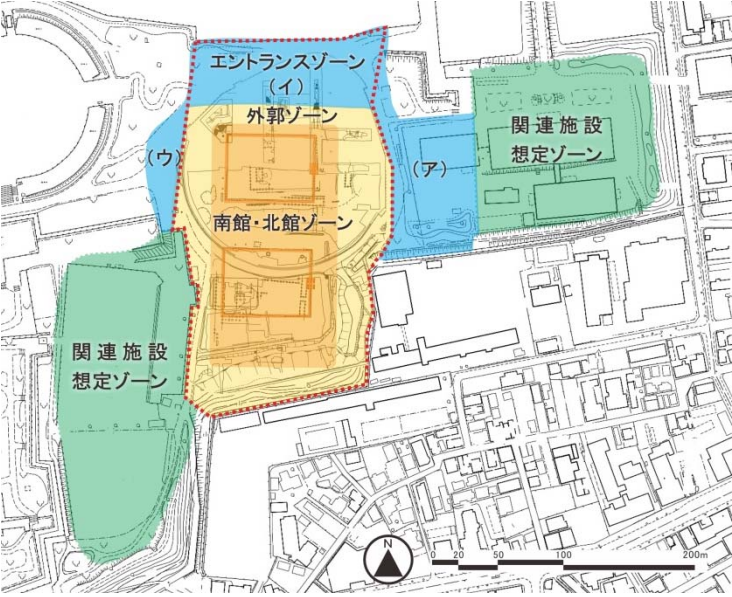


基本方針概念図

III. 整備の基本計画

【ゾーニング】

ゾーン	整備の考え方
南館・北館ゾーン	鴻臚館という施設の有していた機能、そこで行われていたことを理解し実感できる空間
外郭ゾーン	南館・北館ゾーンの地形や空間の顕在化と一体的な利用が可能な広場空間
エントランスゾーン	対外交流と歴史の重層性を理解し実感できる空間への入口
関連施設想定ゾーン	鴻臚館の全容の解明につながる調査を実施するゾーン



ゾーニング図

【前期整備計画素案（計画策定後 7 年）】

主な整備内容
・展示館の改修（覆屋の増築、内容充実など）
・地形の一部復元、遺構の平面表示、園路整備
・ガイダンス施設の整備
→ 価値を伝える
・鴻臚館を理解し実感するための VR・AR 等の導入
・高等裁判所跡地の確認調査 など



前期整備計画図

【後期整備計画素案（計画策定後 15 年）】

主な整備内容
・北館 東門・塀の一部復元
・地形の一体復元、中央土橋の復元、園路整備
→ 歴史の重層性の実感できる
・多様な活用を担う広場としての整備
→ 貴重なオープンスペースの確保
・VR・AR 等の拡充
・二ノ丸広場の確認調査 など



後期整備計画図